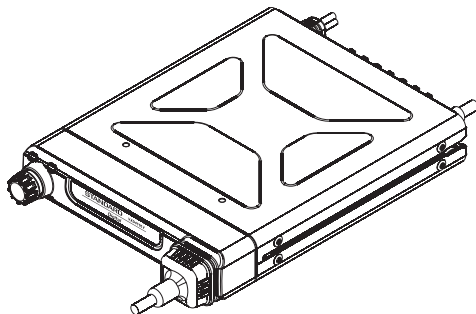
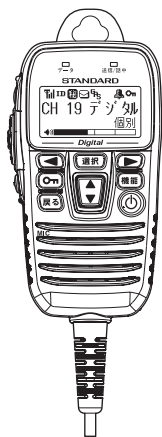


STANDARD

車載型デジタル簡易無線電話装置

VXD4500V

取扱説明書



無線局種別コード:3A(免許局)
4値FSK変調 簡易な業務用

お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線電話装置は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

目次

お客様へ.....	1
防塵性について.....	1
構成品.....	1
安全上のご注意.....	2
ご使用にあたっての準備.....	4
各部の名前と機能.....	5
本体.....	5
スマートマイク“MH78A10J”.....	6
液晶表示部.....	8
LEDの動作概要.....	9
設置と接続.....	10
電源の接続.....	10
アンテナの接続.....	10
スマートマイク“MH78A10J”の接続.....	11
車載用ブラケットの使いかた.....	11
GPSレシーバー“FGPS-3KIT”について.....	11
通信の基本操作.....	12
呼び出しを受けたとき.....	17
その他の基本ボタン操作.....	18
モニターボタン.....	18
キーロックボタン.....	18
スキャンボタン.....	19
緊急ボタン.....	19
選択ボタン.....	20
機能ボタン.....	20
個別通信設定と受信待ち受け画面について.....	21
簡易リスト.....	22
送受信メニュー.....	25
拡張機能(コールモード).....	29
拡張機能(セットモード).....	45
MCAccess e用のeブリッジアダプターについて.....	58
アフターサービス.....	58
オプション.....	58
故障かな?と思う前に.....	59
オーバーホールのお勧め.....	59
定格.....	60

お客様へ

■ お願い

- ◎ 本体底面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、無線電話装置やスマートマイクを“分解”または“改造”したり、指定以外の装置を接続することは、法律で禁止されています。
- ◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
- ◎ 本機にマイクなどを接続する際は、必ず当社純正のオプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。
- ◎ 本説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。販売店にて、これらの設定を変更している場合は、操作方法が異なる場合があります。詳しくは、設定の変更をおこなった販売店にお問い合わせください。

防塵性について


本機は、IP5X 相当（JIS 保護等級 5 種防塵相当）の防塵性能を有し、埃などで無線機の安全性を損なわないように保護されていますが、埃などがスピーカーやマイク部分の表面に蓄積した場合、音量が小さくなったり、音質が悪くなったりすることがありますので定期的の確認、清掃することをお勧めします。


構成品


◎ 無線機本体.....	1
◎ スマートマイク “MH-78A10J”	1
◎ 車載用ブラケット.....	1
◎ 車載用ブラケット取り付けビス.....	一式
◎ DC 電源ケーブル.....	1
◎ 予備ヒューズ (5A).....	2
◎ マイクフック.....	1
◎ マイクフック取り付けビス.....	2
◎ 取扱説明書（本書）.....	1
◎ 保証書.....	1



安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

 **危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


 **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


 **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


 行ってはならない禁止事項です（例  分解禁止）。


 必ず守っていただきたい注意事項です。


危険

 自動車を運転しながらスマートマイクを操作しない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。
運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてから操作してください。


 航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”での設置および運用をしない
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。




 引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない
発火事故や落下事故などの原因になります。

 DC電源コードを挟んだり、押し潰すことがないように設置する
火災・発熱・発火・断線などの原因になります。

 通電中に無線機の天面やヒートシンクに触らない
本体は回路保護のために放熱しますので、通電中の無線機の天面やヒートシンクに触ると、やけどなどの原因になります。








警告

 分解や改造をしない
本機は電波法に基づく無線局です。
分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。

-  本機は、“IP5X 相当”の防塵構造になっておりますが、防水構造ではありませんので、雨や水がかかる場所では使用しない
故障の原因になります。
-  自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
-  心臓ペースメーカー装着者は使用しない
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



注意

-  指定以外のオプションを使用しない
故障や破損の原因になります。
-  スマートマイクを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしない
コードの変形や断線などにより、故障の原因になります。
-  強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります。
-  磁気カードなどをスマートマイクに近づけない
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。
-  無線電話装置を直射日光の当たる場所（ダッシュボード）や熱器具（ヒーター）の近くや水のかかる場所に設置しない
無線機の金属部分が高温になり、ヤケドの原因になったり、プラスチックケースの変形や変色等の原因になります。
-  シンナーやベンジンなどでケースを拭かない
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
-  ゴム製品、プラスチック製品をケースに触れたまま放置しない
無線機は回路保護のために放熱しますので、ゴムやプラスチックが変形や変色する原因になります。

ご使用にあたっての準備

■ 簡易無線局免許申請

本機は電波法に基づいて技術基準適合証明を取得していますので、簡単な手続きにより簡易無線局免許を取得して、ご利用いただくことができます。

本機は、「ARIB STD-T98[デジタル簡易無線機]とSTD-9[アナログ簡易無線機]」に準拠し、アナログチャンネルでも運用可能なデジタル簡易無線機です。

また、他社互換デジタル通信モード“ユーザーコード通信”に対応しておりますので、互換を示す種別コード「3A」の他社デジタル簡易無線機と通信することができます。

■ 使用形態にあわせての設定

ご利用については、簡易無線局免許に基づいた基本設定や、ご使用の形態にあわせてのカスタマイズが必要になります。

ご購入に際し販売店とご相談の上、無線機の設定を行ってください。

◎ 基本設定

デジタル運用に必要なUC(ユーザーコード)や秘話コード、アナログ通信にはトーンスケルチ又はデジタルコードなどを設定します(購入時に販売店で設定を行います)。

◎ カスタム設定

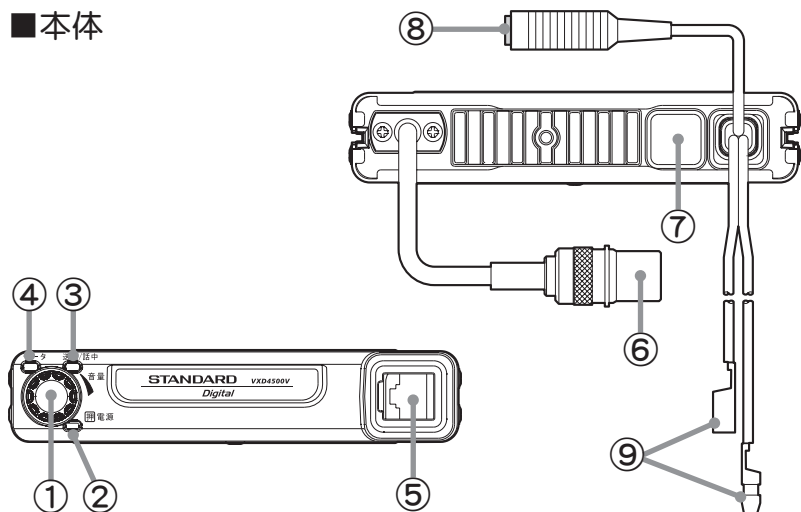
ご利用形態にあわせて個別通信機能(個別選択呼出し機能)のIDや名称設定、GPSオプション、データ通信用ケーブルの取り付けなどをおこないます。購入時に販売店とご相談の上、設定をおこなってください。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.

U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

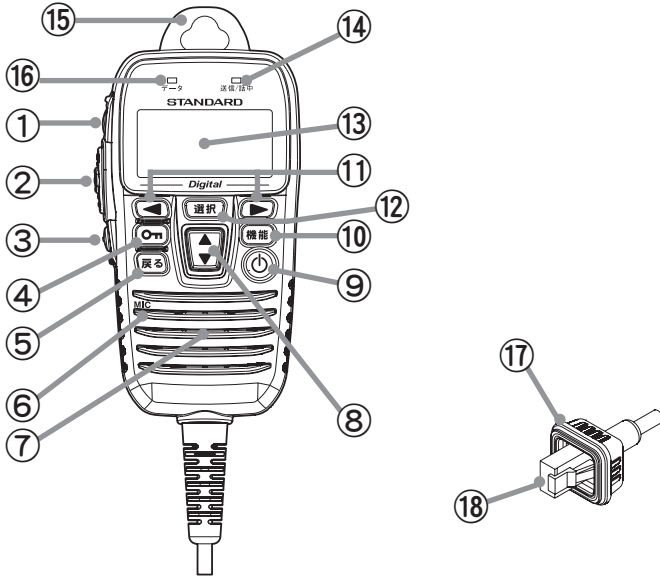
各部の名前と機能

■本体



- ① 電源スイッチ / 押すと電源“ON”、再度押すと電源が“OFF”になり、音量調節ツマミで音量の調節をします。
- ② 電源“ON”LED 無線機の電源が“ON”の時に緑色で点灯します。
- ③ 通話表示LED 無線機の状態に応じて点灯、または点滅で表示します。
- ④ データ通信LED データ通信中は“オレンジ色”に点灯します。
- ⑤ スマートマイク接続端子 付属のスマートマイク“MH-78A10J”を接続します。
- ⑥ アンテナコネクタ アンテナを接続します(M型コネクタ)。
- ⑦ 外部アクセサリ用 オプションの外部アクセサリ用のケーブルを取り付けるケーブル取付穴です。通常は防塵キャップが取り付けられていますので、販売店以外の方は外さないでください。
- ⑧ 外部スピーカージャック 3.5φミニピンジャック(メス)です。オプションの外部スピーカーを接続します。
- ⑨ DC電源コード 付属のヒューズ付DC電源ケーブルを使って12V/24Vのバッテリーまたは、オプションの専用直流安定化電源装置“FP-33”に接続します。

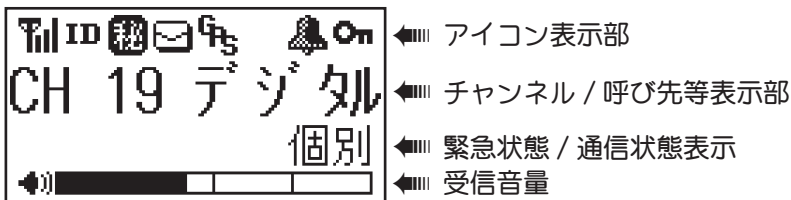
■スマートマイク “MH-78A10J”



- ① スキャン / 緊急ボタン
- ◎ 短く押すとスキャン（19 ページ参照）がスタートし、再度短く押すと、スキャンがストップします。
- ◎ 緊急時に 2 秒以上押すと、緊急モード動作になります（19 ページ参照）。
- ② PTT ボタン
- PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、無線機は送信状態になります。放すと待ち受け / 受信状態になります。
- ③ モニターボタン
- 無線チャンネルをモニターするときに押します。デジタルチャンネルでは、デジタル音声をモニターすることができます。
- ④ キーロックボタン
- 2 秒以上押すと、誤って各種ボタンに触れても設定が変わらないようにロックすることができます。もう一度 2 秒以上押すとロック解除となります。
- ⑤ 戻るボタン
- 各種設定を行っているときに、1 つ前の状態に戻すことができます。

- ⑥ マイク ここに向かって話します。
- ⑦ スピーカー ここから相手の音声や操作音が聞こえます。
- ⑧ ▲ / ▼ ボタン 音量の調節をします。
簡易機能設定や送受信メニューでは、アップ / ダウンスクロールボタンになります。
- ⑨ 電源ボタン 1 秒以上押し続けることで電源のオン / オフをします。
- ⑩ 機能ボタン 簡易リスト画面 (22 ページ参照) に切り替わります。
デジタル運用方式の個別通信モードでは、2 秒以上押すことにより送受信メニュー (25 ページ参照) に切り替わります。
- ⑪ ◀ / ▶ ボタン チャンネル切替え及び個別選択呼出しの呼先個別番号 (ID 番号) の切替えをします。
- ⑫ 選択ボタン ◎ “選択” ボタンを押しながら “電源” ボタンを押すことで拡張機能画面になります。
◎ 選択呼出し表示中、「一斉 ▶▶ グループ ▶▶ 個別 ▶▶ 一斉・・・」の順番に切替わります。
◎ 2 秒以上押すと、“アナログチャンネル” と “デジタルチャンネル” を交互に切り替えることができます。
- ⑬ フルドット ディスプレイ 各種状態や情報を表示します。
- ⑭ 通話表示 LED 受信中は通信モードにより “緑色” “水色” “青または白色” の点滅、送信中は “赤色” または “青色” に点灯します。
- ⑮ ハンガーフック スマートマイクをハンガーに掛けるためのフックです。
- ⑯ データ通信 LED データ通信中は “オレンジ色” に点灯します。
- ⑰ 防塵カバー 無線機にモジュージャックを差し込んだ後は、防塵カバーをしっかりとかぶせてください。
- ⑱ モジュージャック スマートマイクを本体と接続するためのコネクタ (10 ピン) です。

■液晶表示部



	アンテナ（電界強度表示 / 送信出力表示） 受信時：受信している電波の強さに応じて4段階で表示します。 送信時：5W出力時は“”、1W出力時は“”が点灯します。
ID CH	「◀」「▶」ボタンの動作表示 ID ：呼び先選択機能として動作します。 CH ：チャンネル選択機能として動作します。
	秘話（デジタルモードで秘話運用の場合に点灯します）
	メッセージ ショートメッセージ送信中および、受信中に点滅します。
	GPSの捕捉状況 消灯：GPS受信機を接続していない状態 点滅：GPS衛星を捕捉中の状態 点灯：GPSデータを正しく受信しているとき
	ベルアイコン 個別通信時に点灯します。
	キーロック 設定されたボタンやツマミがロックされ、無効の状態の時に点灯します。
	音量（ディスプレイ左下側に表示します） アイコン横のバーで音量位置の目安を表示します。

LEDの動作概要

通話表示およびデータ通信LEDは通信状況・動作状況に応じて下記のように点灯・点滅します。

通話表示LED

LEDの色・状態	通信（動作）状態
緑色点滅	アナログ通信受信時、デジタルUC通信受信時、他局通信時
緑色点灯	モニター動作時
赤色点灯	アナログ通信送信時、デジタルUC通信送信時、 デジタル個別通信送信時
青色点滅	デジタル秘話UC通信受信時、デジタル秘話個別通信受信時
青色点灯	デジタル秘話UC通信送信時、デジタル秘話個別通信送信時
水色点滅	個別通信受信時
水色点灯	個別通信および、デジタル秘話個別通信での、通話保持時間の時（および不在着信時）
白色点滅	緊急アラーム動作時および緊急信号着信時

データ通信LED

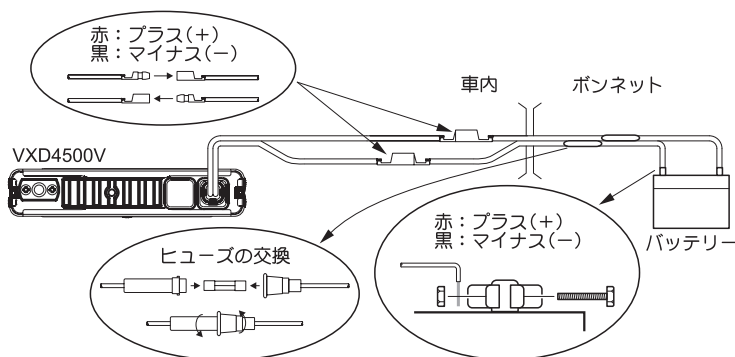
LEDの色・状態	通信（動作）状態
オレンジ色点灯	データ通信中

設置と接続

電源の接続

■車載で使用する場合

- ◎ 車のボディにバッテリーのマイナス（-）電極が接続してある“マイナス接地”の車でご使用ください。
- ◎ 必ず付属の電源コードを使用し、電源のプラス（+）側端子に電源コードの“赤線”、マイナス（-）側端子に電源コードの“黒線”を接続してください。
- ◎ 電源を接続した後は必ず、コネクタ部分に絶縁カバーを被せてください。



■事務所などで使用する場合

事務所などで使用する場合は、別売りの基地局用直流安定化電源“FP-33”をご使用ください。

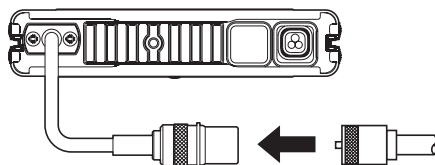
設置方法は、FP-33に付属の取扱説明書をご覧ください。

アンテナの接続

簡易無線電話装置用のアンテナを、アンテナコネクタに接続してください。

補足

- 使用できるアンテナに関しては、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- アンテナを接続した後は必ず、コネクタにカバーを被せてください。



スマートマイク “MH-78A10J” の接続

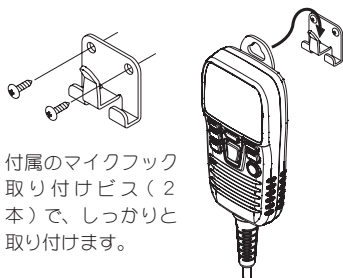
スマートマイク “MH-78A10J” のコネクタを、「カチッ」と音がするまで無線機本体の接続端子に差し込んでください。

補足

スマートマイクを接続した後は必ず、コネクタ部に防塵カバーを被せてください。



マイクフックの使いかた



付属のマイクフック
取り付けビス（2
本）で、しっかりと
取り付けます。

車載用ブラケットの使いかた

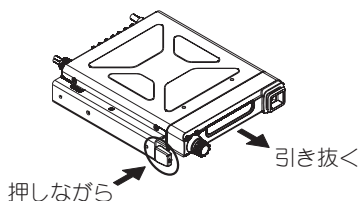
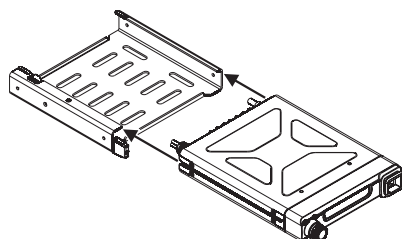
下図を参考にして、無線機側面の溝を車載用ブラケットに「カチッ」と音がしてロックがかかるまで確実に差し込んでください。

無線機を車載用ブラケットから外す場合は、矢印で示す箇所を押しながら、無線機本体を引き抜きます。

補足

○ 車載用ブラケットは、付属のブラケット取り付けビス（4本）でしっかり取り付けてください。

○ 車載用ブラケットは、上下どちら側にも取り付けることができます。

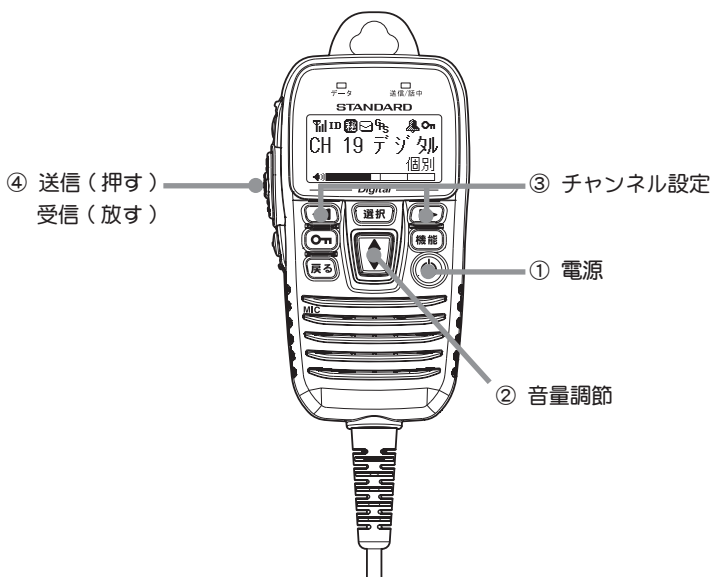


GPS レシーバー “FGPS-3KIT” について

“FGPS-3KIT” は、本機を利用した位置情報を取得するための専用オプションです。

VXD4500V への取付は、販売店でのみ可能ですので、ご購入の際は販売店にご相談ください。

通信の基本操作

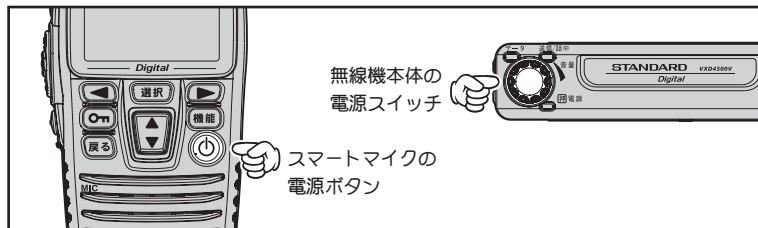


① 電源を入れる

電源ボタンを約1秒間押し続けると、電源が入ります。

補足

- ディスプレイに起動画面が約2秒間表示され、「ピポッ」という電子音とともに待ち受け画面に変わります。
- 無線機本体の電源スイッチを約1秒間押すことでも電源を入れることができます。



② 音量を調節する

“▲”または“▼”ボタンを押して、ピーブ音が適切な音量になるように調節します。

補足

無線機本体の音量調節ツマミでも、音量を調節することができます。この場合ピーブ音が鳴りませんので、ディスプレイ下部の音量バーを目安にして調節してください。



音量の目安

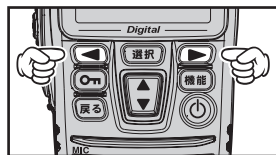


③ チャンネルをあわせる

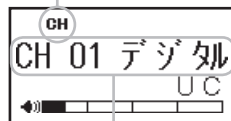
“◀”または“▶”ボタンで、通話したい相手と同じチャンネルにあわせませす。

補足

- ディスプレイに“CH”が点灯しているときに、チャンネルを選択することができます。“CH”が点灯していない場合は“簡易リスト”の“キー切替”を行ってください(22ページ参照)。
- アナログ通信で使用できるチャンネルは、“CH 01”～“CH 09”です。
- デジタル通信で使用できるチャンネルは、“CH 01 デジタル”～“CH 19 デジタル”です。



“CH”の表示



相手局と同じチャンネル

次ページに続く

ビーブ音によるチャンネル確認

スマートマイクのディスプレイが確認できないような場合、ビーブ音で“デジタルチャンネル”と“アナログチャンネル”の状況を確認することができます。

	デジタルチャンネル	アナログチャンネル
チャンネル1ビーブ	ポピ	ピポ
チャンネル切り替え音	ピ	ポ

④ 通話したい相手局を選択する

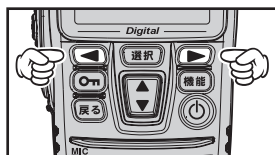
特定の相手を選択する必要が無い場合は⑤に進んでください。

個別通信で相手を呼び出す場合は、次の手順で相手局を選択します。

“◀”または“▶”ボタンで、通話したい相手局を選択します（下表参照）。

補足

- ディスプレイに“ID”が点灯しているときに、相手局を選択することができます。“ID”が点灯していない場合は“簡易リスト”の“キー切替”を行ってください（22ページ参照）。
- あらかじめ個別通信設定がされている場合は、電源投入後の待ち受け画面に「呼び出す相手局」と「個別」、「グループ」、「一斉」のいずれかが表示されます。



“ID”の表示



呼び出したい相手局

個別・グループ・一斉

通信形式	選択できる相手局	動作
デジタル通信 アナログ通信	一斉	設定した全ての局を呼び出します。
	グループ番号 またはグループ名	設定したグループに属する全ての局を呼び出します。
	個別番号 または個別名称	設定した局だけを呼び出します。

⑤ 送信（通話）する

PTT ボタン（送信ボタン）を押しながら、マイクに向かって話します。

補足

- 混信を防ぐため、他の無線局が話をしていないとき（通話表示 LED が点滅していないとき）に、送信するようにしてください。
- マイクと口元の間隔は、5 cm 位が適当で、普通の声量で話します。マイクと口元の距離が近すぎたり、声が大きすぎたりすると、音声割れたり、歪むことがあります。
- 送信中は、通話表示 LED が赤色または青色に点灯し（9 ページ参照）、LCD に“**YII**”が点灯します（送信出力が 1W に設定されている場合は“**Y**”が点灯します）。
- 連続送信時間は 5 分未満と決められています。本機では送信を開始してから約 4 分 50 秒後にアラームが「ピピピ」と鳴り、送信開始から 5 分が経過する前に、自動的に送信が止まります。そのまま PTT ボタン（送信ボタン）を押し続けた場合、送信を開始してから 5 分間経過すると、その後 1 分間は送信禁止状態になります。アラームが鳴った際は、速やかに送信を中止してください。



“**YII**” が点灯



次ページに続く

⑥ 相手の音声を受信する

PTT ボタン（送信ボタン）を離すと受信状態になり、送信を開始した相手の話を聞くことができます。

補足

- 信号を受信すると、通話表示 LED が点滅し（9 ページ参照）、電波の強さに応じて、ディスプレイの“アンテナマーク”が点灯します。
- 個別通信の場合、相手の話が終わると通話保持時間（初期値は 5 秒）がお互いに設定されます。応答は、通話保持時間（応答待ち時間）の間に行ってください。

信号を受信すると点灯

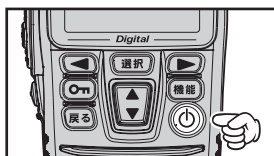


⑦ 電源を切る

電源ボタンを約 2 秒間押し続けると、電源が切れます。

補足

- 無線機本体の電源ボタンでも電源を切ることができます。
- オプションの直流安定化電源装置“FP-33”を使用している場合は、“FP-33”の電源を先に切った場合、無線機の設定変更が記憶されないことがありますので、無線機の操作をした後 1～3 秒程度経過してから、“FP-33”の電源を切ってください。



呼び出しを受けたとき

個別通信方式で呼び出しを受けると、電子音（着信ベル）やLEDの点滅により呼び出しがあったことを知らせ、同時に通話保持時間（初期値は5秒）が設定されます。

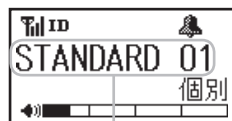
すぐに応答することができなかった場合“不在着信状態”となり、呼び出してきた相手局IDの表示が点滅します。その状態でPTT（通話）ボタンを押すと、相手局を呼び返すことができます。

不在着信状態をキャンセルする場合は、“戻る”ボタンを押してください。

個別通信で呼び出された方式（個別、グループ、一斉）による電子音（着信ベル）などの設定は、“拡張機能”（29ページ参照）を参照してください。また、LEDの表示については“LEDの動作概要”（9ページ参照）を参照してください。

個別呼び出しを受けたとき

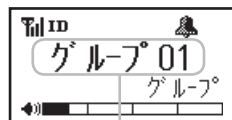
ディスプレイに、呼び出してきた相手局のIDが表示されます。



相手局のID

グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示されます。



グループID

一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、“一斉”が表示されます。



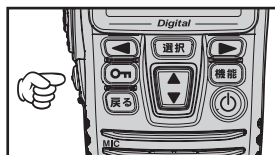
その他の基本ボタン操作

モニターボタン

■アナログチャンネルのとき

モニターボタンを押す。

異なるトーンやデジタルコードの音声をモニターすることができます。



補足

相手の声が途切れて聞こえるときなどに押すと聞きやすくなる場合があります。

■デジタルチャンネルのとき

モニターボタンを押す。

異なる個別 ID や UC (ユーザーコード) の音声をモニターすることができます。

補足

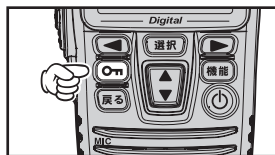
秘話通信機能が動作している無線機の音声を、モニターすることはできません。

キーロックボタン

誤って各ボタンを押しても、チャンネルなどの設定が変わらないようにすることができます。

“**On**” ボタンを2秒以上押す。

続けると、ディスプレイに“**On**” が点灯し、ボタンがロックされます。



補足

- キーロックが動作中に各ボタンを押すと、ピープ音が鳴り、ロック中であることを知らせます (PTT (通話) ボタンのみピープ音は鳴りません)。
- キーロックをしても、電源ボタン、緊急ボタン、PTT ボタン、モニターボタン、音量調整ボタン (▲/▼ボタン) またはツマミはロックされません。
- PTT ボタン、音量調整ボタン (▲/▼ボタン) をロックすることができます (販売店にご相談ください)。

●ロックを解除するには

ロックが動作中に、“**On**” ボタンを2秒以上押す。

“**On**” 表示が消え、ロックが解除されます。

スキャンボタン（デジタル通信時のみ）

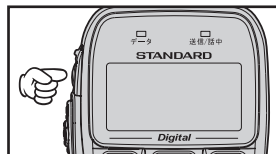
現在の通話チャンネルと事前に設定したスキャンチャンネル（工場出荷時：CH01）を交互に受信しながら、待ち受けすることができます。

スキャン機能を有効にするには、セットモード“F18 スキャン”を“ON”に設定してください。

“スキャン” ボタンを短く押す。

スキャンがスタートし、再度短く押すとストップします。

スキャンが動作中、ディスプレイに“スキャン中”が表示されます。



補足

- スキャン中に、UC 通信ではユーザーコードが違う場合、または個別通信では自局宛て呼び出しでない場合など、待ち受け対象外と判断して一時停止しません。
- スキャン中、“F15 ID モニター”の機能が“ON”に設定してある場合、自動的に“OFF”になります。
- セットモードによるスキャン機能の詳細設定（F18 スキャン～ F21 スキャン RX）は、55 ページ～ 57 ページを参照してください。

緊急ボタン

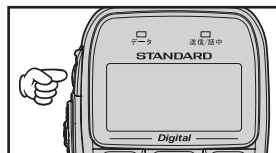
不慮の事故などの緊急事態を、アラーム音と LED の表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して、他の仲間に緊急を知らせることができます。

“緊急” ボタンを 2 秒以上押す。

49 ページに記載の“F05 緊急モード”で設定した動作をおこないます。

補足

緊急アラーム機能の動作を停止させるには、電源を切ってください。



●緊急信号を受信したとき

デジタル個別通信時に緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局の ID を表示し、LED インジケータが白色で点滅します。さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続けます。

補足

- 電子音は、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 緊急ボタンを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴り始めます。

緊急信号を受信したときに、PTT ボタンを押して送信すると、自動的に“一斉呼び出し”（同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出す）に切り替わり、緊急信号を発信した相手局に対して、音声での問いかけや、応答をすることができます。

選択ボタン

ボタンの押し方により2種類の動作をおこないます。

■ 呼び出し先リストの表示

“選択” ボタンを短く押す。

個別通信運用時に、呼び出し先リスト（一斉、グループ、個別）を表示します。



■ 運用モードの切り替え

アナログ通信とデジタル通信の両方をご利用の場合

“選択” ボタンを2秒以上押す。

チャンネル表示に切り替わり、「アナログチャンネル」と「デジタルチャンネル」を切り替えます。

再度2秒以上押す。

それぞれの運用モードで最後に設定されたチャンネルに切り替わります。

補足

個別通信で宛先画面を設定している場合は、約2秒後にチャンネル表示から呼び出し先表示に切り替わります。

機能ボタン

“機能” ボタンは、押し方により2種類の動作をおこないます。

■ 簡易リスト

“機能” ボタンを短く押す。

「簡易リスト」が表示され、“CH/ID アイコンの切り替え”や“ホームチャンネルの設定”など、無線機の動作設定の確認や変更をすることができます。

詳細は、22ページの“簡易リスト”をご覧ください。



■ 送受信メニュー（デジタル個別運用時のみ有効です）

“機能” ボタンを2秒以上押す。

「送受信メニュー」が表示され、“発着信履歴”や“ショートメッセージの送信や確認”、“アンサーバック（問い合わせ）”をおこなうことができます。

個別通信設定と受信待ち受け画面について

デジタル通信方式とアナログ通信方式の両方をご利用になる場合、混信を防止するためデジタルチャンネルには“UC(ユーザーコード)”を、アナログチャンネルには“トーン”または“デジタルコードスケルチ”を設定してください。

また、個別通信を行う場合は、全ての無線機に“IDリスト”を作成し、それぞれの無線機に自局のIDを記憶させる必要があります。

なお本機には、あらかじめ仮のIDリストが作成されていますが、お客様の運用形態に合わせて、再構成することをお勧めいたします(設定は販売店が行いますので、お買い上げの販売店にご相談ください)。

	デジタル通信方式		アナログ通信方式	
通信方式と設定	個別通信運用	UC 通信運用	個別通信運用 (セレコール)	トーンスケルチ または デジタルコードスケルチ
必要な設定	UCとID 設定	UC 設定	アナログUCと アナログID 設定	トーン周波数/ コード
◀/▶ ボタンの 機能設定	ID 呼び出し先設定	CH チャンネル設定	ID 呼び出し先設定	CH チャンネル設定

簡易リスト

待ち受け画面で“機能” ボタンを押すと、“CH/ID キー動作の切り替え” や“ホームチャンネルの設定” など、無線機の動作設定の変更や確認をすることができます。

項目	初期値	設定値 / 表示項目	機能
キー切替	CH	CH/ID	◀/▶ ボタンの動作選択
一斉呼出 [※]	通話	通話 / アナウンス	一斉呼び出しを受けた際の応答待ち時間の有無設定
ホーム CH 切替	ホーム	ラスト / ホーム	ホームチャンネルの呼び出し
自局情報	—	UC / 個別 ID / グループ ID	自局の UC、個別 ID やグループ ID を表示します。
無線機情報	—	周波数 / Tone	現在の周波数、トーンスケルチ周波数、DCS(デジタルコードスケルチ)コードを表示します。

※ “一斉呼出” は、デジタル個別通信時のみ表示されます。

キー切替 ～個別通信で使用する設定です～

◀/▶ ボタンを押したときの動作を設定することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを押す。
- ② “キー切替” が選択されていることを確認する。
現在の動作が表示されます。
- ③ “選択” ボタンで、希望の動作を選択する。
“CH”：運用チャンネルの変更。
“ID”：個別通信相手先の ID の選択。
- ④ “戻る” ボタンを押す。
設定を行う前の画面に戻ります。



現在の動作

一斉呼出 ～デジタル個別通信で使用する設定です～

個別通信で“一斉”呼び出しをおこなう際、相手局側の応答待ち時間を無効にすることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“一斉呼出”を選択する。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択”ボタンで、希望の動作を選択する。
“通話”：応答待ち時間が有効になります。
“アナウンス”：応答待ち時間が無効になります。
- ④ “戻る”ボタンを押す。
設定を行う前の画面に戻ります。



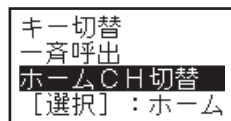
現在の設定

ホーム CH 切替

あらかじめ記憶させた、よく使用するチャンネル（ホームチャンネル）を呼び出します。

※ホーム CH の設定については、お求めの販売店にご相談ください。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“ホーム CH 切替”を選択する。
- ③ “選択”ボタンを押すと、ホーム CH に切り替わる。
ホームチャンネルで、再度上記の操作を繰り返すと、ホームチャンネルに切り替わる前のチャンネル（ラストチャンネル）に戻ることができます。



自局情報

無線機に設定してあるUC(ユーザーコード)、個別ID、グループIDを表示させることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“自局情報”を選択する。
- ③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示される。

アナログチャンネルとデジタルチャンネルでは、表示される内容が異なります。

- ④ “戻る”ボタンを押す。
情報を表示させる前の画面に戻ります。

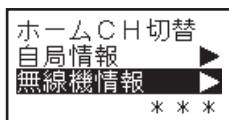


無線機情報

現在設定してあるチャンネルの周波数、トーンスケルチ周波数などを表示させることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“無線機情報”を選択する。
- ③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示される。

- ④ “戻る”ボタンを押す。
情報を表示させる前の画面に戻ります。



送受信メニュー ～デジタル個別通信時で使用する機能です～

待ち受け画面で“機能” ボタンを約2秒以上押すと、相手と交信可能かどうかの確認、発信履歴、メッセージの確認などの操作をおこなうことができます。

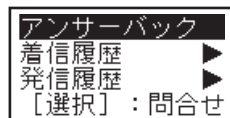
項目	機能
アンサーバック	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。
着信履歴	着信した信号の発信元を、新しい順に表示します（最大10件）。
発信履歴	発信した信号の発信先を、新しい順に表示します（最大10件）。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ（最大10件）を送信することができます。
メッセージ確認	受信したメッセージを、新しい順に表示します（最大10件）。

アンサーバック

待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態を確認することができます。

アンサーバック機能を使用する場合は、セットモード“F16 アンサーバック”を“ON”に設定して機能を有効にしてください。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを2秒以上押す。
- ② “アンサーバック” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押す。
- ③ 送信状態になり、相手局に対して「問い合わせ」の信号を送出して、その後結果を表示する。
“応有”：相手局と交信可能な状態です。
“応無”：「相手局の電源が入っていない」、「距離が離れすぎている」などの原因で、相手局と交信できない状態です。
- ④ “戻る” ボタンを押す。
結果を表示させる前の画面に戻ります。



問い合わせの結果

着信履歴

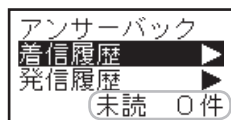
これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“着信履歴” を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ 着信履歴が表示される。

補足

- ▲ / ▼ ボタンで、着信履歴を切り換えることができます。
- ► ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (► ボタンでキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。
- ユーザーコード“000”を着信した場合、着信履歴に残りません。

- ⑤ “戻る” ボタンを押す。
着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

発信履歴

これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“発信履歴” を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ 発信履歴が表示される。

補足

- ▲ / ▼ ボタンで、発信履歴を切り換えることができます。
- ► ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (► ボタンでキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

- ⑤ “戻る” ボタンを押す。
発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



メッセージ送信

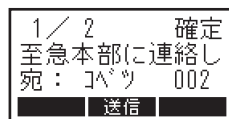
あらかじめ登録されたメッセージ*（最大 10 件）を送信することができます。

※メッセージの設定は、販売店にご相談ください。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“メッセージ送信”を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで送信したいメッセージを選択する。
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
- ⑥ 宛先を確認し、“選択” ボタンを押す。
メールマークが点滅します。
- ⑦ 個別宛先で送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示する。
“応有”：正しくメッセージが届いた場合。
“応無”：正しくメッセージが送られなかった場合。
- ⑧ “戻る” ボタンを押す。
メッセージを送る前の画面に戻ります。



メッセージを選択



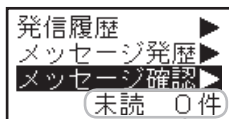
メッセージを受信すると、ディスプレイに“✉”マークが点滅し、同時にメッセージを表示（スクロール）します。

メッセージを確認後“戻る” ボタンを押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。

メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“メッセージ確認”を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ メッセージの着信履歴が表示される。
 - ▲ / ▼ ボタンで、着信履歴を切り換えることができます。
 - ▶ ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (▶ ボタンでキャンセル)。
- ⑤ “戻る” ボタンを押す。
着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

補足

拡張機能 ～コールモード～

自局 ID、UC(ユーザーコード)、秘話 ID など、通信時に使用する情報や機能の設定を行うことができます。

項目	初期値	設定値	機能
C01 通信方式 (D)	UC 通信	個別通信 / UC 通信	デジタル通信時の通信方式の選択
C02 UC(D)	000	000 ～ 511	UC(ユーザーコード)の設定
C03 自局 ID(D)	001	001 ～ 200	自局 ID の設定
C04 グループ ID(D)	201	201 ～ 230	グループ ID の設定
C05 通信方式 (A)	一斉	セレコール / 一斉	アナログ通信時の呼び出し方式の設定
C06 UC(A)	01	00 ～ 99	アナログ通信時の UC(ユーザーコード)の設定
C07 自局 ID(A)	01	01 ～ 80	アナログ通信時の自局 ID の設定
C08 グループ ID(A)	81	81 ～ 98	アナログ通信時のグループ ID の設定
C09 個別ベル	1	0/1/2/3/4/5	個別呼び出し時の電子音の回数設定
C10 グループベル	0	0/1/2/3	グループ / 一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C11 個別宛先	可変	可変 / 固定	個別通信時の呼び出し先表示の設定
C12 固定宛先 (D)	000	000 ～ 230	デジタル個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C13 固定宛先 (A)	99	01 ～ 99	アナログ個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C14 緊急個別 ID	***	000 ～ 255	緊急を知らせたい相手局の ID 設定 (アナログ通信では設定できません)
C15 通話保持時間	5	5/10/15/30/ 60(秒)/CONT	個別通信時の通話保持時間の設定
C16 秘話 ID	OFF	OFF/\$01 ～ \$20	プリセット 秘話コードの選択。 あらかじめ \$01 ～ \$20 に、最大 20 種類の秘話鍵をプリセット可能。

(D) : デジタル通信時に有効な設定項目

(A) : アナログ通信時に有効な設定項目

拡張機能(コールモード)の基本的な操作方を右ページに記します。
各項目の具体的な操作方は、31 ページ以降を参照してください。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら、電源を入れる。

拡張機能の選択画面が表示されます。



- ② ▲ / ▼ ボタンで“コールモード”を選択する。

- ③ “選択” ボタンを押す。

補足

○ パスワードの入力画面が表示された場合、コールモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

○ パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。

- ▲ / ▼ ボタンで数字を選択する。
- ◀ / ▶ ボタンで桁を移動させ、▲ / ▼ ボタンで数字を選択する。
- 入力が終わったら“選択” ボタンで決定する。
- 正しいパスワードが入力されると、コールモードの画面が表示される。

- ④ ▲ / ▼ ボタンで、設定したい項目を選択する。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。

- ⑥ ▲ / ▼ ボタンで、設定値を変更する。

- ⑦ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



CO1 通信方式 (D) ～デジタル通信で使用する設定です～

UC 通信と個別通信を切り換えることができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“通信方式 (D)” の表示にあわせる。

現在の通信方式が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

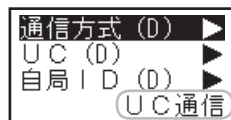
④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の通信方式を選択する。

“UC 通信”：デジタル UC 通信方式で運用するとき。

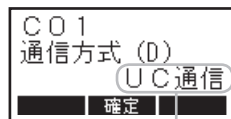
“個別通信”：デジタル個別通信方式で運用するとき。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の通信方式



通信方式

CO2 UC(D) ～デジタル通信で使用する設定です～

UC(ユーザーコード)を変更することができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“UC(D)” の表示にあわせる。

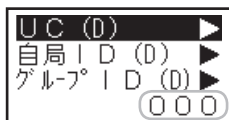
現在のUCが表示されます。

補足

UCの代わりに“CH”が表示される場合は、すでにチャンネルごとにUCが設定されており、変更することができません。

また、現在の値が表示されていても、次の③の操作にて“選択”ボタンを押しても値が変更できない場合は、販売店によりUCの変更が禁止された状態になっています。

これらの状態でUCの変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



現在のUC

③ “選択” ボタンを押す。

UCの百の桁で、カーソルが点滅します。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の数字を選択する。

補足

○ 設定できるUCは“000”～“511”です(512以上の数字にあわせることはできませんが、設定することはできません)。

○ UCの“000”は、特別なUC(ユーザーコード)として扱われ、受信時は、UC(ユーザーコード)が異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか、通信することができません。

⑤ ▶ ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動する。

◀ ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のUCを設定する。

⑦ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



UC

C03 自局 ID(D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されている自局のIDを変更することができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲/▼ボタンで、“自局 ID(D)” の表示にあわせる。

現在の自局 ID が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲/▼ボタンで、希望の数字を選択する。

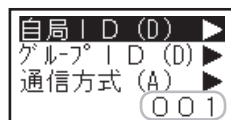
補足

○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。

○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の自局 ID



自局 ID

C04 グループ ID (D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されているグループ ID を変更することができます。

- ① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“グループ ID (D)” の表示にあわせる。

現在のグループ ID が表示されます。

補足

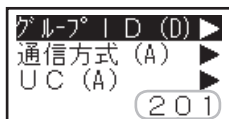
現在のグループ ID に“ALL”が表示されている場合は、販売店により複数のグループ ID が登録されています。変更が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の ID を選択する。

補足

○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在のグループ ID



グループ ID

C05 通信方式 (A) ～アナログ通信で使用する設定です～

呼び出し方を切り換えることができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“通信方式 (A)” の表示にあわせる。

現在の呼び出し方式が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

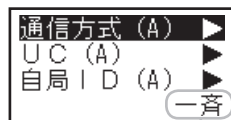
④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の呼び出し方式を選択する。

“一斉” : 同じトーンを設定した局を呼び出すことができる“トーン”方式で運用するとき。

“セレコール” : 指定した相手局を呼び出すことができる“セレコール”方式で運用するとき。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の呼び出し方式



呼び出し方式

C06 UC(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

アナログ個別通信用のUC(ユーザーコード)を変更することができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“UC(A)” の表示にあわせる。

現在のUCが表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

UCの十の桁で、カーソルが点滅します。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の数字を選択する。

設定できるUCは“00”～“99”です。

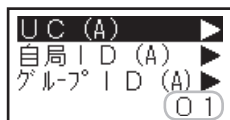
⑤ ▶ ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動する。

◀ ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、UCを設定します。

⑦ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在のUC



UC

C07 自局 ID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、アナログ通信用の自局 ID を変更することができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“自局 ID(A)” の表示にあわせる。

現在の自局 ID が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

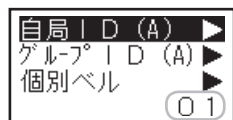
④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の数字を選択する。

補足

- 設定できる ID は、“01” ～ “80” です。
- あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
- 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の自局 ID



自局 ID

C08 グループ ID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、アナログ通信用のグループIDを変更することができます。

① 30ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ボタンで、“グループID(A)”の表示にあわせる。

現在のグループIDが表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ボタンで、希望の数字を選択する。

補足

- 設定できるIDは、“81”～“98”です。
- あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。
- 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在のグループID



グループID

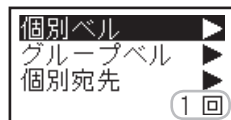
C09 個別ベル ～デジタル / アナログ共通の個別通信で使用する設定です～
個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“個別ベル” の表示にあわせる。

現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の回数を選択する。
設定できる回数は“0”～“5”です。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

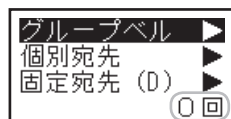
C10 グループベル ～デジタル / アナログ共通の個別通信で使用する設定です～
グループ / 一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“グループベル” の表示にあわせる。

現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の回数を選択する。
設定できる回数は“0”～“3”です。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C11 個別宛先 ～デジタル個別通信で使用する設定です～

応答待ち時間（通話タイマー）が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“個別宛先” の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の表示方法を選択する。

“可変”：直前の通話で設定した呼び出し先の ID を表示します。

“固定”：あらかじめ設定している（C12 固定宛先で設定）呼び出し先の ID 表示に変わります。

⑤ “選択” ボタンを押します。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

C12 固定宛先 (D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

デジタル個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“固定宛先 (D)” の表示にあわせる。

現在設定されている ID が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の数字を選択する。

補足

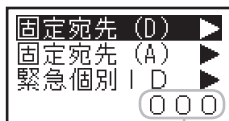
○ 設定できる ID は “000” ～ “230” です。

○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。

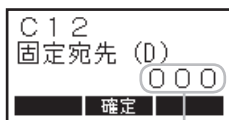
○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の固定宛先 ID



固定宛先 ID

C13 固定宛先 (A) ～アナログ個別通信で使用する設定です～

アナログ個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲/▼ボタンで、“固定宛先 (A)” の表示にあわせる。

現在設定されているIDが表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

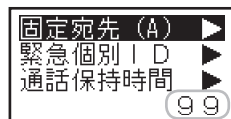
④ ▲/▼ボタンで、希望の数字を選択する。

補足

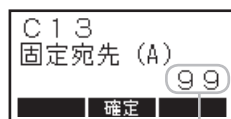
- 設定できるIDは、“01”～“99”です。
- あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。
- 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の固定宛先



固定宛先

C14 緊急個別 ID ～デジタル個別通信で使用する設定です～

出荷時の設定は、同一ユーザーの全員に緊急を知らせる“緊急一斉”に設定されていますので、本設定を行うことはできません。

緊急を知らせたい相手局の ID を変更できる“緊急個別”方式への変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 緊急一斉

同じユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができません。

■ 緊急個別

特定の相手局にだけ、緊急を知らせることができます。

C15 通話保持時間 ～デジタル / アナログ共通の個別通信で使用する設定です～
応答待ち時間（通話タイマー）の時間を設定することができます。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“通話保持時間” の表示にあわせる。

現在の設定時間が表示されます。

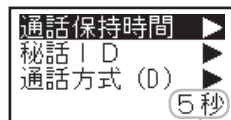
③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望する応答待ち時間を選択する。

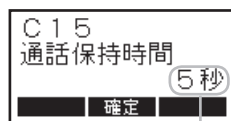
設定できる時間は“5s”（5 秒）、“10s”（10 秒）、
“15s”（15 秒）、“30s”（30 秒）、“60s”（60 秒）、
“CONT”（連続）です。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定時間



設定時間

C16 秘話 ID ～デジタル通信で使用する設定です～

秘話通信機能の動作を、ON/OFF することができます。

秘話通信機能を使用するには、あらかじめ秘話コードを設定しておく必要があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

① 30 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“秘話 ID” の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

注意

“ALL OFF” が表示される場合は、秘話機能の使用が禁止されていますので、設定を行うことはできません。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、秘話通信機能の OFF または秘話コードを選択する。

“\$01 ~ \$20”：設定した秘話コードで秘話機能が動作します。

“OFF”：秘話通信機能がオフになります。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。

補足

- 秘話通信機能が動作しているときは、ディスプレイに“秘”が点灯します。
- 交信したい相手の無線機にも、同じ秘話コードが設定されていないと、交信することはできません。
- お互いの秘話コードが異なる場合は、相手の音声を電氣的に秘話処理した電子音が聞こえるだけで、通話内容を正しく聞き取ることができません。
- 秘話信号を受信すると、LED ランプが青色で点滅します。
- 秘話通信機能が動作しているときに送信すると、LED ランプが青色で点灯します。



現在の設定



設定

拡張機能 ～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定を行うことができます。

項目	初期値	設定値	機能
F01 ビープレベル	08	00 ~ 15	操作音(ビープ音)の音量設定
F02 外部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	外部マイクの感度設定
F03 ハンドマイク	+6	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	スマートマイクの感度設定
F04 マイクスピーカ	AUTO	ON/OFF/AUTO	マイクロホンのスピーカ動作設定
F05 緊急モード*	BP	BP/T/S/BP+T/OFF	緊急モード*の動作設定
F06 TXビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F07 RXビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定 (D2)
F08 スケルチ	04	00 ~ 12	スケルチレベルの設定 (A)
F09 通話モード	デュアル	デュアル / アナログ / デジタル	通信モードの選択
F10 送信出力制限	High 有効	High 有効 / Low 固定 / 受信専用	送信出力の設定
F11 明るさ調整	2	OFF / 1 ~ 3	ディスプレイの明るさ設定
F12 弱電界アラーム	OFF	ON/OFF	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F13 不在着信ベル	OFF	OFF / 5秒毎×2/ 2秒毎 / 1分毎 / 連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F14 未使用	-	-	本機では何も設定されていません
F15 ID モニター	OFF	ON/OFF	自局を呼んでいない個別呼び出しでも、相手局のID (自局ID) を表示させるかを設定 (D1)
F16 アンサーバック	OFF	ON/OFF	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定 (D1)
F17 データ通信	GPS	GPS/Modem	データ通信の設定 (D1)
F18 スキャン	OFF	ON/OFF	スキャン機能の設定 (D2)
F19 スキャンCH	CH01	CH01 ~ CH19	スキャンチャンネル番号の設定 (D2)
F20 スキャン PTT	通話 CH	通話 CH / スキャン CH	スキャン動作中の PTT 動作設定 (D2)
F21 スキャン RX	ON	ON/OFF	着信後のスキャン再開設定 (D2)
F22 設定リセット	-	-	拡張機能の設定を初期値 (御購入時の状態) に戻します

(D1) : デジタル個別通信時に有効な設定項目

(D2) : デジタル通信時に有効な設定項目

(A) : アナログ通信時に有効な設定項目

セットモード*の基本的な操作方法を右ページに記します。
各項目の具体的な操作方は、47 ページ以降を参照してください。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら、電源を入れる。

拡張機能の選択画面が表示されます。

- ② ▲ / ▼ ボタンで“セットモード”を選択する。

- ③ “選択” ボタンを押す。

補足

○ パスワードの入力画面が表示された場合、セットモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

○ パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。

- ▲ / ▼ ボタンで数字を選択する。
- ◀ / ▶ ボタンで桁を移動させ、▲ / ▼ ボタンで数字を選択する。
- 入力が終わったら“選択” ボタンで決定する。
- 正しいパスワードが入力されると、セットモードの画面が表示される。

- ④ ▲ / ▼ ボタンで、設定したい項目を選択する。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。

- ⑥ ▲ / ▼ ボタンで、設定値を変更する。

- ⑦ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲/▼ボタンで、“ビープレベル” の表示にあわせる。
現在の音量レベルが表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の音量を選択する。
設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の音量レベル



音量レベル

F02 外部マイク

外部マイクのマイク感度を設定することができます。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲/▼ボタンで、“外部マイク” の表示にあわせる。
現在のマイク感度が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲/▼ボタンで、希望の感度を選択する。
マイク感度は、下記の 8 段階から選択することができます。
(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在のマイク感度



マイク感度

F03 ハンドマイク

スマートマイクの、マイク感度を設定することができます。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“ハンドマイク” の表示にあわせる。

現在のマイク感度が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

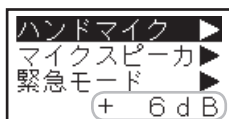
④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の感度を選択する。

マイク感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在のマイク感度

F04 マイクスピーカ

スマートマイクに内蔵してあるスピーカの動作を変更することができます。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“マイクスピーカ” の表示にあわせる。

現在の動作が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の動作を選択する。

“ON” : 内蔵スピーカから音が出ます。

“OFF” : 内蔵スピーカからは、音が出なくなります。

“AUTO” : 外部スピーカを接続すると、内蔵スピーカからは、音が出なくなります。

⑤ “選択” ボタンを押します。

その後電源を切ると設定は終了します。



マイク感度



現在の動作



動作

F05 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“緊急モード” の表示にあわせる。
現在の動作が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の動作を選択する。

“OFF” : 緊急アラーム機能は動作しません。

“BP” : 無線機のスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。

“T” : 自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中にPTTボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

※ この設定は、個別通信時のみ動作します。

“S” : サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDは緊急動作中も変化しません。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中にPTTボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

※ この設定は、個別通信時のみ動作します。

“BP+T” : 上記“T”の動作を行った後、“BP”の動作を行います。

※ この設定は、アナログ一斉通信時および、デジタルUC通信時には“BP”の動作を行います。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の動作



動作

F06 TX ビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“TX ビープ” の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、TX ビープのオン / オフを選択する。

“ON”：TX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

“OFF”：TX ビープの動作がオフになります。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F07 RX ビープ ～デジタル通信で使用する機能です～

受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

デジタル個別通信時または、“000” 以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ▲ / ▼ ボタンで、“RX ビープ” の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、RX ビープの ON/OFF を選択する。

“ON”：RX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

“OFF”：RX ビープの動作がオフになります。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F08 スケルチ ～アナログ通信で使用する機能です～

信号を受信していない時の耳障りなノイズを消す“スケルチ回路”のレベルを設定することができます。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“スケルチ”の表示にあわせる。
現在のスケルチレベルが表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望のレベルを選択する。
設定できるレベルは“00”～“12”です。



“00”に設定すると、アナログ通信方式では、常に“ザー”というノイズが聞こえる状態になります。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在のスケルチレベル



スケルチレベル

F09 通話モード

本機で利用できる通信方式（アナログ通信とデジタル通信）を設定することができます。利用できる通信方式は、免許内容により異なりますので、詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

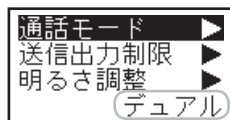
- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“通話モード”の表示にあわせる。
現在の動作が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の表示方法を選択します。

“デュアル”：デジタルとアナログ、両方の通信方式を利用することができます。

“デジタル”：デジタル通信方式のみ、利用することができます。

“アナログ”：アナログ通信方式のみ、利用することができます。

- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の動作



動作

F10 送信出力制限

送信出力（発射する電波の強さ）を“High 有効”（5W）と“Low 固定”（1W）または、送信を禁止する“受信専用”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“Low”に、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“送信出力制限”の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の設定を選択する。

“High 有効”：送信出力が 5W に設定されます。

“Low 固定”：送信出力が 1W に設定されます。

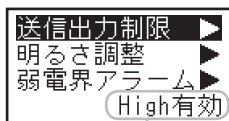
“受信専用”：PTT ボタン（送信ボタン）を押しても、送信しなくなります。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。

補足

ご購入時の設定で、周波数ごとの送信出力設定が“Low”に設定されている場合は、上記の TX パワーの設定値が“High 有効”となっても実際の送信出力は“Low 固定”（1W）となります。



現在の設定



設定

F11 明るさ調整

スマートマイクのディスプレイの明るさを調節することができます。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“明るさ調整”の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

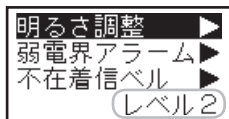
③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の設定を選択する。

設定できる明るさは“OFF”（常時消灯）、“レベル1”（暗い）～“レベル3”（明るい）です。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定

F12 弱電界アラーム ～デジタル通信で使用する機能です～

受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFF することができます。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲/▼ボタンで、“弱電界アラーム”の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

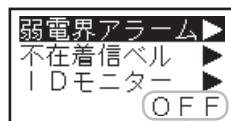
④ ▲/▼ボタンで、弱電界アラームの ON/OFF を選択する。

“ON”：弱電界アラームが動作し、受信信号が極端に弱くなると、アラーム音が鳴ります。

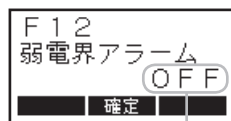
“OFF”：弱電界アラームの動作がオフになります。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F13 不在着信ベル ～デジタル/アナログ共通の個別通信で使用する設定です～

相手からの個別呼び出しを受けた後、応答しなかった場合、設定した条件で「ブプ」 という電子音を鳴らすことができます。

なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、電子音は鳴りません。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲/▼ボタンで、“不在着信ベル”の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲/▼ボタンで、希望の設定を選択する。

“OFF”：不在着信ベルの動作がオフになります。

“5秒×2”：着信後、5秒間経過するとベルが鳴り、更に5秒間経過すると再度ベルが鳴ります。

“2秒毎”：着信後2秒毎にベルが鳴ります。

“1分毎”：着信後1分毎にベルが鳴ります。

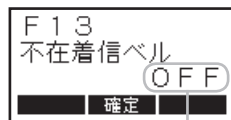
“連続”：着信するとベルが鳴り続けます。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F14（表示されません）

“F14”には、何も機能が割り当てられていませんので表示されません。

F15 IDモニター ～デジタル個別通信で使用する機能です～

自局を呼んでいない個別呼び出しでも、相手局のID（自局ID）を表示します。

① 46ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“IDモニター”の表示にあわせる。

③ “選択” ボタンを押す。

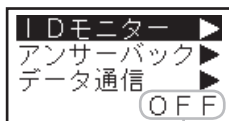
④ ▲ / ▼ ボタンで、IDモニターのON/OFFを選択する。

“ON”：相手局のIDを表示して確認することができます。

“OFF”：IDモニターは動作しなくなります。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F16 アンサーバック ～デジタル個別通信で使用する機能です～

アンサーバック機能を、ON/OFF することができます。

① 46ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲ / ▼ ボタンで、“アンサーバック”の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

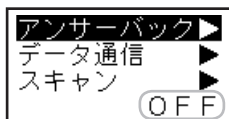
④ ▲ / ▼ ボタンで、アンサーバックのON/OFFを選択する。

“ON”：アンサーバック機能が動作します。

“OFF”：アンサーバックの動作がオフになります。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定

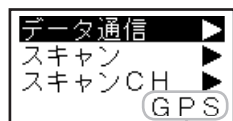


設定

F17 データ通信 ～デジタル個別通信で使用する機能です～

データ通信を行う際に設定します。データ通信に関しては、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲/▼ボタンで、“データ通信”の表示にあわせる。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲/▼ボタンで、データ通信の種別を選択する。
“GPS”：GPS 機能を利用する際に選択します。
“Modem”：Modem 通信機能を利用する際に選択します。
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定

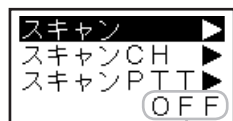


設定

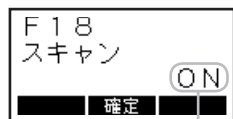
F18 スキャン ～デジタル通信で使用する機能です～

工場出荷時ではスマートマイクの“スキャン”ボタンは無効 (OFF) に設定されています。スキャン機能を使用する際は、F18 スキャンを ON に設定し“スキャン”ボタンを有効にします。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲/▼ボタンで、“スキャン”の表示にあわせる。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲/▼ボタンで、スキャン機能の ON/OFF を選択する。
“ON”：スマートマイクの“スキャン”ボタンを有効にします。
“OFF”：スマートマイクの“スキャン”ボタンを無効にします。
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定

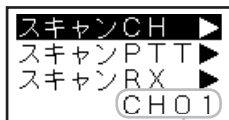


設定

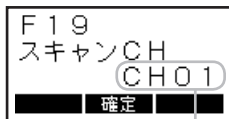
F19 スキャン CH ～デジタル通信で使用する機能です～

スキャンの対象となるチャンネル（スキャンチャンネル）を設定します。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“スキャン CH” の表示にあわせる。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望のスキャンチャンネルを選択する。
設定チャンネルは“CH01”～“CH19”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F20 スキャン PTT ～デジタル通信で使用する機能です～

スキャン動作中に PTT（通話）ボタンを押したときの、送信チャンネルを設定します。

- ① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ▲ / ▼ ボタンで、“スキャン PTT” の表示にあわせる。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで、希望の動作を選択する。
“通話 CH”：現在の待ち受けチャンネルで送信します。
“スキャン CH”：F19 スキャン CH で設定したチャンネルで送信します。
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F21 スキャンRX ～デジタル通信で使用する機能です～

スキャン動作中に信号を受信した際、その後スキャンを再開させるかどうかを設定します。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲/▼ボタンで、“スキャンRX” の表示にあわせる。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押す。

④ ▲/▼ボタンで、スキャン機能再開の ON/OFF を選択する。

“ON”：通話終了後、自動でスキャンが再開します。

補足：再開時間はコールモード“C15 通話保持時間”に依存します。

“OFF”：信号を受信するとスキャンは停止し、通話終了後もそのチャンネルで待ち受けを継続します。

⑤ “選択” ボタンを押す。

その後電源を切ると設定は終了します。



現在の設定



設定

F22 設定リセット

拡張機能の設定を、ご購入時の状態（販売店設定値）に戻すことができます。

① 46 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ▲/▼ボタンで、“設定リセット” の表示にあわせる。

③ “選択” ボタンを押す。

④ “◀” ボタンを押すと、設定がリセットされる。

リセットを中止する場合は、“戻る” ボタンを押してください。



MCAccess e 用の eブリッジアダプターについて

eブリッジアダプターは MCAccess e のデジタル MCA 無線機と接続をして、MCAccess e の回線を利用することができる接続アダプターです。

MCAccess e の回線は IP-VPN による業界初の広域通信ネットワークで、日本全国でご利用が可能です。

詳細は、一般財団法人移動無線センターのホームページ^{※1}を参照してください。

eブリッジアダプター^{※2}と接続を希望される際は、お買い上げになりました販売店にご相談ください。

使用方法は eブリッジアダプター^{※2}の取扱説明書をご参照ください。

※ 1 : <http://www.mrc.or.jp/>

※ 2 : eブリッジアダプターはエムシーアクセス・サポート株式会社及びスマートウェブ・テレコミュニケーションズ株式会社の製品です。

アフターサービス

保証期間は お買い上げ日から3年間です。

お買い上げいただいた日から3年以内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。

保証サービスを受けるためには、保証書（ご購入日と製品製造番号が明記されてあるもの）を添え、ご購入の販売店までご持参又は郵送してください。送料、保険はお客様のご負担になります。

オプション

- ◎ 基地局用直流安定化電源 -----FP-33
- ◎ 高出力外部スピーカー -----MLS-100
- ◎ 防水仕様高出力外部スピーカー（IP55 相当）-----MLS-200
- ◎ スマートマイク -----MH-78A10J
- ◎ GPS レシーバーキット -----FGPS-3KIT
- ◎ データ通信用ケーブル -----CT-147
- ◎ マイク延長ケーブル -----CT-146

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？

修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！

- DC電源または、DC電源コードのヒューズが切れていませんか？
- お車のバッテリーの電圧は正常ですか？
- スマートマイクは正しく接続されていますか？
 - ▶▶ 無線機本体の電源スイッチを約1秒押したとき、無線機本体のみ電源が入る場合は、スマートマイクの不具合が考えられます。

◎ 送信できない！

- PTT(通話)ボタンを正しく押していますか？
- 送信出力の設定が“受信専用”になっていませんか？
- アンテナは正しく接続されていますか？

◎ 通話できない！

- 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
 - ▶▶ アナログ通信方式とデジタル通信方式間では、交信することはできません。
- デジタル通信の場合、相手局と同じUC(ユーザーコード)に設定していますか？
- デジタル通信の場合、秘話通信機能が動作していませんか？
 - ▶▶ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。
- アンテナは正しく接続されていますか？

オーバーホールのお勧め

下記のいずれかに該当する場合は、オーバーホールをお勧めいたします。
なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

- お買い上げから1年経過した後
- オーバーホールを行って1年経過した後
- 落下や衝撃が加わった場合
- キズ劣化等が確認された場合

定 格

一般

- 送 受 信 周 波 数 : デジタルチャンネル (6.25kHz 間隔、19+9 (DATA 専用) 波)
154.44375MHz ~ 154.61250MHz
アナログチャンネル (20kHz 間隔、9 波)
154.45MHz ~ 154.61MHz
- 電 波 型 式 : F1E、F1C、F1D、F1F (デジタル)
F3E、F2D (アナログ)
- 通 信 方 式 : 単信方式、単向通信方式、同報通信方式 (デジタル)
- 電 源 電 圧 : DC 13.8V 10% または DC 26.4V 10%
- 消 費 電 流 : DC 13.8V 送信時 (出力 5W 時) 約 1.6A
受信定格出力時 約 0.5A
受信待ち受け時 約 0.3A
- 温 湿 度 範 囲 : 温度 - 20°C ~ + 60°C
湿度 95% (35°C)
- 寸 法 (W × H × D) : 本体 124mm × 24.9mm × 153.8mm (突起物を除く)
スマートマイク
60mm × 120mm × 24mm (突起物を除く)
- 重 量 : 本体 約 870g、スマートマイク 約 230g
※ RoHS 指令準拠

送信部

- 空 中 線 電 力 : 5W/1W (+ 20%、- 50% 以内)
- 空中線インピーダンス : 50 Ω 不平衡
- 発 振 方 式 : 水晶発振制御による周波数シンセサイザー方式
- 周 波 数 許 容 偏 差 : ± 1.5ppm 以内
- 変 調 方 式 : 4 値 FSK (デジタル)
可変リアクタンス周波数変調 (アナログ)
- 占有周波数帯域幅 : 5.8kHz 以下 (デジタル)
16kHz 以下 (アナログ)
- 最大周波数偏移 : ± 1324Hz 以内 (デジタル)
± 5.0kHz 以内 (アナログ)
- 隣接チャンネル漏洩電力 : - 52dB 以下 (デジタル、5W 時)
- 65dB 以下 (アナログ、5W 時)
- 総合歪及び雑音 : 1kHz、70% 変調にて 20dB 以上
- ス プ リ ア ス 発 射 : 2.5 μW 以下

不 要 輻 射：2.5 μ W 以下

標 準 変 調 入 力：- 26dBm 5dB(1kHz 60% 変調)

外 部 マ イ ク 入 力：600 Ω 80mVrms(標準変調時)

変 調 周 波 数 特 性：アナログ 1kHz を基準として

0.3kHz - 15dB 5dB

3kHz 6dB 5dB

受信部

受 信 方 式：ダブルスーパーヘテロダイン方式

中 間 周 波 数：第一 50.85MHz

第二 2.304MHz

局 部 発 振 周 波 数：第一 受信周波数 + 50.85MHz

第二 48.546MHz

局 発 周 波 数 変 動： \pm 1.5ppm 以内

受 信 感 度：- 5dB μ V (BER=1%) (デジタル)

- 8dB μ V 以下 (12dB SINAD) (アナログ)

総 合 歪 及 び 雑 音：20dB 以上 (1kHz 70% 10 μ V 入力時)

スプリアスレスポンス：53dB 以上 (BER=1%) (デジタル)

70dB 以上 (アナログ)

隣接チャンネル選択度：6.25kHz 42dB 以上 (BER=1%) (デジタル)

20kHz 65dB 以上 (アナログ)

相 互 変 調 特 性：53dB 以上 (BER=1%) (デジタル)

70dB 以上 (\pm 20kHz、 \pm 40kHz) (アナログ)

ス ケ ル チ 感 度：- 10dB μ V 以下

低 周 波 出 力：スマートマイク 0.7W 以上

外部スピーカー出力 4 Ω 4W 以上

低周波出力インピーダンス：スマートマイク 16 Ω

副次的に発する電波等の強度：4nW 以下



正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。

開発製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社
a Motorola Solutions Company



©2019 Vertex Standard LMR, Inc.

無断転載・複写を禁ず

中国印刷